

### 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172000366		
法人名	株式会社 道央ケアセンター		
事業所名	グループホームつつじⅡ(第1ユニット)		
所在地	北海道小樽市朝里川温泉2丁目694番4号		
自己評価作成日	平成25年1月28日	評価結果市町村受理日	平成25年3月12日

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然豊かな環境に位置しており、暖かい季節には周りの山々の景色や草花を眺めながら散歩を楽しむ事が出来ます。また、フロアの窓からは、野生のリシヤ、鹿、野鳥なども遊びに来てくれる事が有ります。暖かい季節には、中庭でお茶を楽しんだり、花壇や家庭菜園があるので利用者の方々と一緒に花壇への水やりや、野菜を育て、収穫し食事をしています。ゆつくりとした家庭的な雰囲気の中で、利用者様一人ひとりが楽しく安心した生活が送れるように努め、地域の方々と交流を深めながら、地域に密着したグループホーム作りを目指し取り組んでいます。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kajigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2011_022_kani%2Fue&amp;JigvosvoCd=0172000366-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022">http://www.kajigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2011_022_kani%2Fue&amp;JigvosvoCd=0172000366-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット
所在地	札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401号室
訪問調査日	平成25年2月18日

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

豊かな自然環境に恵まれた朝里川温泉地域内に施設があり、利用者が安心してゆったりと過ごせるよう、職員や家族等が協力し合い、利用者へのケアサービスを行なっている。施設職員の勤務体制は、夜間専任の職員を採用し、日勤者と夜勤者を別々のシフトを組むことにより肉体的にも精神的にも負担軽減され、そのことが利用者への充実したケア対応に反映されている。また、職員同士の人間関係が良好であり、職員にとつては働きやすい職場になっているので、利用者にも家庭的な温かみのあるケアサービス提供ができています。また食事の調理は各フロアごとで独自に行なわれており、色とりどりの食材、食堂に広がる匂いなど、利用者の視覚や嗅覚、味覚を楽しませる工夫がなされ、利用者へ「楽しい食事」になるよう取り組んでいる。同グループの近隣施設との協力関係がしっかりと構築されており、地域イベント等への参加や防災訓練、人事交流等を行なっている。職員、利用者、家族が一体となり、地域に根ざした施設作りをしている。

#### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	独自の運営理念とポリシー(方針)を決め、常に目に止まる所に掲示し、それに沿ってサービスを提供しています。又、社内研修に取り入れ、皆で共有し実践につなげています。	運営理念、ポリシー(方針)を掲示、社内研修に取り入れ読み合わせをしたりと、職員全員で共有し実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の小学校や施設行事への参加、地域のお祭や、クリスマス会、雪明かりなどはボランティアの方や子ども会の協力を頂き、楽しく交流が来ています。	地域の小学校との交流やお祭イベント等への参加、事業所の各種イベントに子ども会やボランティアの方々に協力してもらい楽しく交流している。また、「クリーン作戦」の清掃参加、ペットボトルキャップやダンボールを回収したりと地域貢献の一翼を担っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	2ヶ月に1回運営推進会議を開催しその中で地域の民生委員さんや、ご家族の方々へ日々のホームでの生活をお伝えしたり、認知症の方の理解や支援の方法等を話しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、自己評価、外部評価について報告しています。日々の取り組み、改善に向けた取り組みなど意見交換を行いサービス向上に活かしています。	定期的(年6回)に運営推進会議を開催し、民生委員や包括センターの方々と意見交換や取り組み、改善点等を話し合い、サービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	電話や窓口にて相談し、アドバイスを受け協力関係を築くように取り組んでいます。	市担当者と連絡を密に取り合い、相談しアドバイスを受け、関係強化をはかっている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に身体拘束委員会を開催し、話し合いを行っています。社内研修にも取り入れ、禁止の対象となる具体的な行為を正しく理解し職員全員に周知し、ケアに取り組んでいます。	定期的に身体拘束廃止委員会を開催し色々な意見交換を行いながら、より良い改善策を講じ具体的な方策を取り入れ、職員全員に周知しケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社内研修にて繰り返し学ぶ機会を持ち、日々の生活の中で、利用者様の様子の変化等に注意し、防止に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社内研修に取り入れて、繰り返し学ぶ機会を作っています。職員全員が理解を深め、知識の向上につながる様努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	サービス提供前に契約書、重要事項説明書にて説明し、ご家族が不明な点等については十分話し合える時間を持ち、納得を頂けるよう努めています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の面会時に意見や要望等を伺うようにしています。面会の少ないご家族へは、電話や便り等に対応し、意向に沿ったケアが行えるようにしています。	家族の面会時に意見や要望を聞き入れたり、運営推進会議に参加した家族からの意見、要望等を聞き運営に活かしている。その他、家族とのやり取り(電話や手紙)も行ない、ケアの向上を目指している。	今後の運営に反映していけるよう利用者や家族への「アンケート調査」を行なうことも有効的な手段であり、より良いケアの向上につながり、運営に反映されることを期待したい。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見や提案を重視し、定期的に会議を開催し、意見交換の場を設けています。又、日々の介護の場面での気付きなども都度意見を聞いています。	定期的に会議を行ない、職員からの意見や提案を集約し、日々の改善をはかり、必要時にはその都度話し合いをして運営に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の職員が能力を発揮出来る様に努めています。又、個々が目標を持ち積極的に資格取得に取り組み、向上心を持って働けるように努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修は毎月実施し、外部研修へも参加しています。また資格取得を目指す職員へアドバイスや、模擬問題の配布を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	相互訪問研修を通して同業と交流し、意見交換を行い、学んだ事をサービスの質の向上につながる様努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めています。	安心して、入所が出来る様にお話する機会を持ち、見学を勧めています。心配事や要望等を聞き、ご本人が不安なく納得して入所出来るよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の意思を受け止め、不安に思っている事や、困っている事などを聞き入れ、信頼関係作りに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族が必要としている支援があればその都度話し合い、出来るだけ添えるように対応しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活の中で、一緒に行えることは手伝って頂き、職員も教えて頂きながら共に支え合えながら、良い関係を築けるよう心掛けています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会や電話の際に、ご本人の様子をお伝えし、ご家族からの意見を取り入れながら、より良いサービスを行っていくよう努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方が快く面会に来て頂けるよう、ご家族に協力を頂きながら支援に努めています。又、ご本人と安心してお話が出来る環境を心掛けています。	馴染みの方の訪問利用や馴染み先への訪問を快くするために、家族の協力をもらいながら行なっている。病院や美容室等へ出かける時も利用者の要望に基づき、職員が対応している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士の関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様一人ひとりの性格や相性などを配慮しその方に合った人間関係を作ってもらえるよう支援していきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も、何か相談や心配事がある場合はいつでも応じる事をお伝えしています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中から、ご本人の表情や、言葉の中から少しでも思いを把握する様努めています。意思疎通が難しい場合は、ご家族から情報を得るようにしています。	利用者一人ひとりの思いや意向を把握するため、利用者の表情や発する言葉等を注意深く意識するように努め、意思疎通が困難な場合などは家族の協力を得るようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居の際に、ご本人ご家族から情報を伺い、日々の生活の中で継続出来るよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの1日の過ごし方や、心身の状態を職員間で共有し無理のない程度に有する力を発揮出来るように努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族の意向を聞き、担当者会議等で適切なサービスを提供出来るよう話し合いをし介護計画を作成しています。	利用者や家族の意向を聞き入れて、担当者会議を通して適切なサービス提供ができるように介護計画を作成している。またモニタリングを都度行ない、それに即したケア支援を行なっている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画に基づき毎日の様子を個別に記録しています。モニタリング表を活用し、担当者間での話し合いを介護計画見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	協力医療機関以外の通院や、送迎などご家族が同行出来ない場合などは、柔軟に対応しています。また、宿泊の希望があれば、ゲストルームなど利用出来るようにしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員、消防、地域のボランティアの方々から協力を頂き、豊かな暮らしが出来るよう支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	以前からの病院を継続するか、施設協力病院へ移行するかは、ご本人、ご家族の希望に添った受診、往診を支援するよう努めています。	協力病院との提携、それ以外の通院等の送迎など職員が対応し、受診内容等を家族へ直接連絡して報告している。その他関連したことにも柔軟に対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常の健康管理を行い、変化があった場合は協力病院(内科・整形・精神科・歯科)の看護師に相談し対応しています。			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用様が安心して治療が出来るように病院や家族と連絡を取り合い、情報交換や経過を共有し、早期退院が出来るように努めています。			
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいます。	重度化の方針については、サービス開始以前に説明しています。協力医療機関や他の施設と連携し、その状態に合った支援が受けられるよう取り組んでいます。	看取りは行っていないが早い段階から利用者、家族と話し合いを行っており、協力医療機関と連携し家族とも相談の上でその状態に合ったケア支援を行っている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	社内研修などで、応急手当や、初期対応が出来るよう学んでいます。今後も全職員が実践出来るよう努めています。			
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力で定期的に日中、夜間を想定した避難訓練を行っています。地域の方々とも協力し、安全に避難が出来るよう地域の消防団との連携を図れるように話しを進めています。	近隣の同グループ事業所合同による防災訓練を年2回行っており、各事業所と連携し合っている。防災用品(食糧含む)等の備蓄もされており、避難場所への安全誘導策も講じている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用様の人格を尊重し話す内容により自室へお誘いしたり、相手の目線に合わせるなど心掛けています。	利用者一人ひとりの人格を尊重しており、細やかな配慮で接していて、利用者への理解に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用様の希望を表出出来るよう、声の掛け方を工夫し話しやすい環境を作るよう心掛けています。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事、入浴、行事等への参加など、ご本人の希望や、ペースを大切に、時間をかえるなど無理のない様に支援しています。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節や気温に合った服装、散髪などその人が希望するヘアスタイルなどが出来るよう支援しています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	味覚、臭覚、視覚等を大切に、盛り付けなどを工夫しています。調理の下準備、配膳片付け等を一緒に行っています。	各フロアごとで調理加工されており、利用者の五感を楽しませている。旬の食材を使用したり、色とりどりの盛り付けなどが工夫され、後片付けも一緒に行なっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの好みや体調に合わせ、お粥にしたり、刻み、とろみを付け量も調節しています。食事摂取量、水分量は毎日記録しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、一人ひとりの口腔状態に合わせて、歯磨きを促し煎茶でのうがい、夕食後は義歯を預かり、洗浄剤で消毒しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、自立されている方は、この状態が維持出来るよう、経過を見守ります。困難な方は時間をみて声掛けを行い援助しています。	トイレ介護を行ない、脱オムツを目指し、利用者一人ひとりの排泄パターンを把握して、その状態に沿う形でケア支援を行なっている。絶えず声かけをしたり、時間誘導等を行なっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	出来る限り排便の有無を確認し、記録しています。掛かり付けの病院にて下剤を処方して頂いたり、体操や歩行を促し、マッサージ、牛乳を飲んで頂くなど工夫しています。		
45	17	○入浴を楽しむことのできる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	一人ひとりの体調や気分をみながら、声掛けのタイミングや順番を考え、入浴を楽しめるよう個人のペースに合わせて行っています。	週に最低2回以上の入浴支援を行ない、無理な強制入浴はさせていない。シャワーや時間をずらしての入浴など利用者の状態に合わせて工夫を凝らしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活リズムに合わせて、夜間ゆっくり安眠出来るように、日中はなるべく活動を促し、眠気が強い場合は休息をとって頂きます。夜間は定期的に巡視し、安心して眠れるよう支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書を事前に確認し、副作用、用法、用量について理解し、服用中の体調の変化の確認に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとり得意な事、出来る事を把握し行って頂いたり、お茶会、書道、歌会、散歩等への参加を促し、気分転換の支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人ひとりの体調をみながら、天気の良い日には中庭や近隣へ散歩に出かけ、気分転換を図っています。近隣施設への行事への参加やご家族の協力にて外出、外食される利用者様もいます。	天気の良い日は近くを散歩したり、中庭で日向ぼっこしたり、地域への行事参加や家族同行での外出、外食もしている。利用者のその時の状態に合わせたケア支援を行なっている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご自分で金銭管理を行っている方はいませんが、入所時にご家族からお小遣いを預かりその中で必要な物をご家族と相談しながら使えるようにしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族や知人の方から電話がきた時は直接お話しして頂いたり、ご本人から希望があれば電話をかけたりしています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を出す様に、季節に合った飾り付けをしたり、音や光、温度や湿度を職員が調節し、不快なく過ごせる様工夫しています。	事業所内の温度、湿度も快適であり、共用スペースには季節に合った飾り付けがしてあり、レクリエーション行事の写真や習字書き物等を掲示してあり、とても和やかで落ち着いた共用空間を醸し出している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	それぞれご自分の居場所を確保し、ゆったりと過ごされリビングや台所で他者と会話を楽しまれています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際に、ご家族と相談し、ご本人が使い慣れた家具や好みの物を配置し、居心地良く生活して頂けるように支援しています。	居室内はきれいに整頓され、利用者の馴染みのあるものや使い慣れた家具類が設置されていて、利用者が居心地良く過ごせるように工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部の居室やトイレには一人ひとりがわかるように目印や見出し、名前を付け、不安なく自立した生活が送れるよう工夫しています。		